

「避難所にて」(中2)の授業について

1 はじめに

明日、表題の内容で授業をするということで相談を受けました。「道徳の読み物資料では主人公の心情を読み取るのではなく、資料から道徳的価値について考える。」ということをもとに授業展開を考えました。1時間の授業で出す発問は次の通りとしました。

<読み物資料>

内容の理解を深める補助発問を2～3つ

資料から道徳的価値について考える発問を1つ

<生活の振り返り>

読み物資料を踏まえて生活の振り返りから道徳的価値を考える発問を1つ

ここでは、相談者の思いを踏まえて、<資料からの発問>の最後に、「自助、共助、共助」について触れることにしました。

2 授業展開

- (1) 教材名 避難所にて / (2) 主題名 調和のある生活
(3) 内容項目 A-(2) 節度、節制
(4) ねらい 調和のある生活や節制を心がけるために、周りの人の生活を見つめることで、自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする実践意欲を養う。

(1)～(4)は指導書より

(5) 授業展開

導入 阪神・淡路大震災時の被災の様子、避難生活の様子をスクリーンに映す。

<資料からの発問>

発問1 p155 ㉩0 (…僕ら、こんなことしててええんやろか。)とありますが、“こんなこと”とは、どんなことですか。(どんな毎日をすごしているのですか。)

→ ペアで意見を交流する。全体で交流する。

発問2 p155 ㉩20 私たち三人が「よろずボランティア相談所」に行ったのはなぜですか。

→ ペアで意見を交流する。全体で交流する。

発問3 p156 ㉩19～ 私たち三人は相談し、ボランティアの人にも話を聴いて、掲示板に貼り紙をしました。そこには、「健康が大切です。」の後に、3つの内容が書かれています。最初の2つは健康に関係していますが、3つ目の記述は“健康”とは直接的に関係がないように思われます。あなたはこの記述についてどう思いますか。(書かれている内容は適切だと思いますか。)

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

→ 道徳ノート「かんがえてみよう」に書く。

※何を書いていいのかわからない生徒もいるだろうから、交流を行った後に自分の考えを書く。

すでに自分の考えがある人は、交流の内容も踏まえて、自分の考えを書く。

発問3の「自分の考えを書く」場面で、教師は「自助、共助」についての記述がある生徒を探す。

改めて、全体で交流する。挙手により発表する。

「自助、共助」についての記述がある生徒に発表を促す。

教科書 次頁の「自助、共助、公助」について黙読させる。

<生活の振り返りからの発問>

発問 避難場所での共同生活では、節度を守りお互いに節制し合うことが求められます。もし、あなたが避難生活を送ることになった場合、節度を守り節制するために、あなたは具体的にどんなことをしようと思いますか。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

→ 道徳ノート「自分に+1」に書く。

※何を書いていいのか分からない生徒もいるだろうから、交流を行った後に自分の考えを書く。

すでに自分の考えがある人は、交流の内容も踏まえて、自分の考えを書く。

3 おわりに

ぜひ実践していただき、成果と課題を共有したいものです。

特に、「意見を交流してから、友だちの意見も踏まえて、自分の意見を書く。」という実践をしていただき、成果と課題を共有したいものです。

<雑感>

道徳の授業は楽しいと思えるようにしたい。別に、わいわいガヤガヤしなくても楽しいと思える授業であれば良い。授業を観せていただく機会が多いが、自分の考えを書いてから交流するということが多いように思う。いろいろな意見が聞けるのは楽しい。友だちの意見に対して、あーだ、こーだと言えればもっと楽しいだろう。そのためには、自分の考えを書いてから交流するのではなく、意見を交流してから友だちの意見も踏まえて自分の意見を書くのはどうだろうか。意見を交流し合うことで、友だちの考えや自分の考えが変わっていくことは楽しいものだ。しかし、一度書いてしまうと、意見は変わりにくいのではないだろうか。友だちの意見が変わることが期待できなければ、白熱した話し合いは期待できない。意見が絡み合うということがなくなる。意見の羅列に終わってしまう。

「本当に全員が取り組んでいるか」というのが最近の私のテーマです。自分の考えを書くとき、課題の内容は理解できているが、何を書いていいのかよく分からないという生徒がときどきいました。友だちに意見を聞けば、そういうことを書けばいいのか、と分かるはずですが。自分の考えを書いた後に交流する場合、交流が終わったときには自分の考えを書く時間がありません。少なくとも、私が参観させていただいた授業では、交流の後にもう一度自分の考えを書く時間を取っていないことがほとんどでした。何を書いていいのか分からなかった生徒は、結局、何も書けないままに終わっていました。交流してから自分の考えを書くというスタイルにすれば、全員が書けるのではないのでしょうか。ぜひ「意見を交流してから、友だちの意見も踏まえて、自分の意見を書く。」という実践をしていただき、成果と課題を共有したいものです。